

《埼玉協同病院だより》

# ふれあい

2019年 No.377

発行：医療生協さいたま  
埼玉協同病院

〒333-0831 川口市木曾呂1317  
TEL.048-296-4771  
FAX.048-296-7182

ホームページ：http://www.kyoudou-hp.com

3

## 東日本大震災・3.11 福島第一原発事故 から8年

東日本大震災、福島第一原発事故から8年が経ちますが、いまだに避難者数は約5万4千人にも上ります。福島第一原発事故は、汚染水の処理や40年かかるといわれる廃炉への作業があるにも関わらず、安倍政権は原発を推進する姿勢を崩しません。

医療生協さいたま、埼玉協同病院では今後も避難者の方々へ寄り添い、支援活動を続けるとともに、「原発をやめて」の声をあげていきます。

2019年  
1月

### 放射線量測定を実施

SHJ委員会



当日は晴れでしたが、時折強い風が吹いている中、昨年同様の12カ所で測定を行いました。

測定値が高かった場所は、前回はバザー会場で0.158μSvでしたが、今回はバザー前駐車場0.138μSvでした。昨年度よりも数値の減少が各所でみられ、全ての測定場所が安全基準0.23μSv以下である事が確認できました。

2019年  
2月

### 甲状腺エコー検診

医療生協さいたま理事長 医師 雪田 慎二

福島県が実施する甲状腺エコー検診（県民健康調査）は現在も継続されていますが、受診率が徐々に低下してきています。また甲状腺癌が多発していると言えるのかどうかは様々な意見があり、手術についても過剰治療ではないかといった議論もあり、混乱が続いています。

医療生協さいたまとしては、対象者が検診を受けやすい環境を作ることが健康を守るために大切と考えて、双葉町が独自に実施している甲状腺エコー検診の委託をうけて、今年も2月に加須市内で集団検診を実施しました。今後も、福島第一原発事故被害者の健康をサポートしながら、生活支援を継続し、被害の救済を国や東京電力に求めていくこと、原発を再稼働させない活動が大切です。

2018年  
8月

### 西日本豪雨大災害支援

リハビリテーション技術科 戸次 有希

被災から1カ月ほど経過した広島県坂町小屋浦に支援に行ってきました。

至るところに残る土砂を土嚢に詰めて除去する作業に従事しました。熱中症対策により作業時間は1日1時間程度で、出来ることは微々たるものですが、被災直後の様子と比較すると継続した支援の積み重ねの重要性を感じました。

ただ普通の生活に戻るにはまだ長い時間が必要であり息の長い支援の必要性を強く感じました。



2019年  
1月

### 後期総合防災訓練を実施

1月30日後期総合防災訓練を実施し、約50名の職員が参加しました。

「直下型地震発生後病棟から火災が発生した」という設定のもと、防災対策本部の立ち上げ、各所の被害状況の集約、初期消火訓練や患者さんの避難誘導訓練が行われました。



### 2019年度4月～9月分

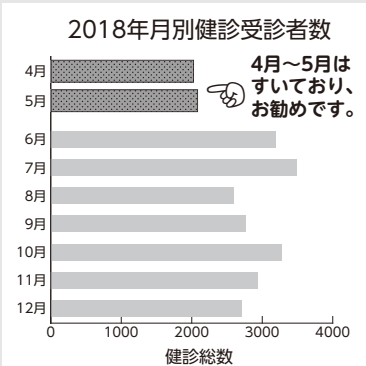
### 川口市 健康診断予約受付中!

川口市からの案内が届いていなくても4月から受診できます。すいているこの時期にお申し込みください。



#### 4月から受けられる健診

- 川口市国保人間ドック  
(30歳～64歳 9,720円)  
(65歳～74歳 6,480円)
- 川口市後期高齢者人間ドック  
(75歳～ 6,480円)
- 川口市胃がん内視鏡検診  
(50歳～69歳 2,000円)  
(70歳～ 無料)  
※隔年実施・対象条件あり



申し込み

健康増進センター

TEL.048-296-4880

電話番号のかけまちがいにご注意ください

### 2019年度 WHO世界保健デー開催

今年もまちかど健康チェックを行います。

日時 4月8日(月) 11:00～15:00

場所 アリオ川口「川口駅」東口から徒歩8分

内容 ●血圧測定、腹囲測定、骨密度測定など健康チェック  
●医師や看護師による健康相談

お気軽にご参加ください



